

令和3年度 授業実施計画書

学 年	2 年	組	科目担当者
教 科 名	家 庭	1	
科 目 名	家庭基礎	2	
単 位 数	2	3	
必修選択区分	必履修	4	
使用教科書	家庭基礎 自立・共生・創造（東京書籍）	5	
使用副教材		6	
		7	
		8	

学習の目標	1 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在の生活を見つめ、自立した生活を目指して知識や判断力を身に付ける。 ・ 家族をとりまく課題について理解し、これからの人生設計について主体的に取り組む姿勢を養う。 ・ 消費者の権利と責任を理解し、主体的な生活者となることを目指す。
	2 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 調理技術を身につけるとともに食生活を見つめ直し、からだに必要な栄養素と食品のかかわりについて理解する。生活の中で自分自身で取捨選択できる力を養う。 ・ 快適な衣生活を送るために衣服の機能や素材、手入れの仕方について実験を通して理解する。
	3 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・ こどもや高齢者について理解し、青年期・壮年期の社会での役割について考えることができる。 ・ 安全な住まいや生活環境について理解し、住宅広告を読み取る力や人にやさしいまちづくりについて考え、生活をつくる力を身につける。
担当者からのコメント	授業内容の修得のためには、自分自身の生活の中から課題を見つけ実践をすることが必須であり、それを目指している。	

成績評価	観点	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人の一生、生活全般に関する基礎的・基本的な知識・技術を身につけたか。 2. 生活課題に対して意欲的に取り組み、解決するための思考を深めることができたか。 3. グループ学習や実験・実習において他者の意見を聞き入れ、協同的な活動ができたか。
	方法	授業への参加態度、実習作品、提出物、レポート、定期考査などから総合的に評価する。

授業計画	学期		時間	指導内容	備考
	1 学期	中間	12	人とかかわって生きる（自立、多様な生き方、家族法、子ども） 生活設計（これからの人生）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新聞から生活の現状を知る ・ テーマ別班別研究・発表 ・ 保育体験実習
期末		12	消費社会を生きる（SDGsを考える） （生活にかかわる経費、消費者の権利と責任、資源と環境）		
2 学期	中間	14	食生活をつくる （食生活診断、栄養と食品とのかかわり、食品実験） （調理実習、食品の選び方と安全）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 調理実習（3回） ・ 繊維の燃焼実験 ・ 界面活性剤の実験 ・ 羊毛のフェルト化実習 ・ カラーコーディネート 	
	期末	14	衣生活をつくる （衣服素材の種類と性能、界面活性剤実験、フェルト化実習）		
3 学期	学年末	18	人とかかわって生きる（高齢者） 住生活をつくる （健康的で安全な住まい、人にやさしいまちづくり、ライフスタイルと間取り）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者擬似体験 ・ 車いす体験 ・ 住宅広告の読み取り ・ 住まいをデザイン 	